

3 15部会の重点目標

各教科・領域において検討し、更新をしています。指定研究の内容と共に授業づくりの参考にしてください。

国語	<p>言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育てるために、話す・聞く、書く、読む力を育み、学ぶ意欲をもって学習する国語の学習指導に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学び合う言語活動を通して、考えを広げたり深めたりし、思考力や想像力を育てる。 ○ 考えを明確にし、構成を考えて文章を書く力を育てる。 ○ 話の内容や意図に応じた表現力を育てる。 ○ 目的に応じて主体的に文章を読み、内容を的確に読み取る力を育てる。
社会	<p>自ら考え自ら学び、確かな学力を育てる社会科の学習指導に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の学ぶ意欲を高めるために、主体的な学習を促す魅力ある「教材開発」や「単元構成の工夫」を行う。 ○ 学び合い深め合う学習を実現するために、適切な課題を設けて行う学習の充実を図り、小集団学習や話し合い活動を取り入れた「学習過程の改善」を行う。 ○ 資料を選択し活用して、自分の考えを記述・発表する力を育てる。
数学	<p>「数学的な見方・考え方」「数学的活動」をより意識した授業づくりを推進し、数学的に考える資質・能力の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動における「数学化」の過程を大切に、「数学的に表現された問題」の設定に生徒が主体的に関わることができるようにする。 ○ 「数学的な見方」「数学的な考え方」それぞれの側面を踏まえ、数学的活動の適所に「数学的な見方・考え方」を働かせる機会を意図的に設定する。 ○ 問題発見・解決の過程において働かせた見方・考え方を振り返る場面を設定し、「数学的な見方・考え方」をより豊かなものとして生徒への蓄積を図る。
理科	<p>目的意識をもって科学的に自然を調べる能力と科学的な思考力を育てる学習活動の展開に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観察や実験の予想を検討したり、結果を整理し考察・吟味したりする学習活動の充実を図ることを通して、目的意識に裏打ちされた科学的な思考力、表現力を高める。 ○ 他者との関わりや問題解決的な活動を展開することを通して、科学的な見方・考え方を育てる。 ○ 地域の環境や学校の実態を生かした自然体験、科学的な体験を通じた実感を重視し、自然事象の認識と科学への興味、関心を一層高める。
音楽	<p>生涯にわたって音楽に親しむ生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽のよさを感じ、伝え、関わり合いながら学び、考える授業を展開する。 ○ 音楽を形づくっている要素を支えとして、思いや意図をもって表現する生徒を育てる。
美術	<p>「美術を通して、コミュニケーションができ、豊かな生き方ができる生徒の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 形や色彩など造形的な美しさを表現したり、鑑賞したりする授業を通して、お互いの見方や感じ方を認め合う生徒を育てる。
保健体育	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、明るく豊かなスポーツライフを実現する資質能力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の実態把握の充実 ○ 保健体育の見方・考え方を働かせることを意識した授業 ○ 学習過程、単元構成の見直し、工夫及び指導と評価の一体化の工夫、充実 ○ 楽しい授業、UDLの推進 ○ 個に応じた運動量の確保と体力の向上
技術・家庭	<p>実践的・体験的な学習活動を通して基礎的・基本的な知識及び技術を身に付けるとともに、学習したことを生かして、よりよい生活、社会を目指そうとする能力と態度の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活実態や社会状況を適切に把握し、学習意欲を高め、生活との関連を重視した指導計画や教材開発に努める。 ○ 学習結果や技術と家庭や社会との望ましい関係等について、自分の考えを発表したり、話し合ったりする活動場面を設定する。

英語	<p>学習指導要領（外国語）の趣旨を正しく理解し、その目標を実現する取組を着実に推進する中で、適切な言語活動を通して、英語で目指す資質・能力を確実に育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DOリストから単元の学習到達目標を設定・共有し、どの生徒も無理なく目標に迫ることができるように指導内容をバックワードで配列して行う指導を徹底する。 ○ 学習指導要領に示されている4技能5領域における言語活動例を視点に、折に触れて自校の指導の現状をチェックし、領域に偏りがないようバランスよく指導する。 ○ 即興的な表現力を育む言語活動を継続的に授業に位置づけ、進歩を実感させながら生徒の主体性や学習意欲を維持・増進させ、自立して学び続ける生徒を育成する。
道徳	<ol style="list-style-type: none"> 1 校長の方針の下、道徳教育推進教師が中心となり、各校の実態を考慮して、重点目標を設定するなどして、道徳教育の全体計画及び年間指導計画を作成する。 2 自分事としての課題になるように、道徳的諸価値を基にして、生徒の考えやこれまでの生き方を確認させるなどの働きかけを工夫する。 3 考え、議論させるために、多面的・多角的な視点からの重層的な発問や体験的な学習などを取り入れ、「自分を語る」授業を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ア 登場人物への自我関与中心の学習 イ 生きる上で出会う課題に対する問題解決的な学習 ウ 道徳的行為に関する体験的な学習 4 授業者は、道徳の内容項目及び題材について、これまでの道徳的諸価値を再考するなどして、自らの価値観を深める。
特別活動	<p>望ましい人間関係を築き、集団や社会の一員として、よりよい集団生活を実現する生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校における集団活動や体験的な活動の一層の充実を図る。 ○ 自分の考えを発表したり、他と交流したりしながら、考えを広げたり、深めたりする場を設定する。
生徒指導	<p>いじめや問題行動、不登校の未然防止と早期発見・早期対応に努めるため、組織的・計画的な生徒指導を推進する。その際、対応のみに終始することなく、自他の個性を尊重し、生徒が互いに認め合い、協力し合うよりよい人間関係の構築を目指し、生徒の自己指導能力と社会性の育成を基盤とした生徒指導に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめは対人関係における問題との視点に立ち、全教育活動を通じて人権感覚を養うとともに、生徒主体の社会性育成活動を実施し、明確な指導方針のもとに組織的な取組を進める。 ○ すべての生徒にとって居心地のよい学校を目指し、将来の社会的自立に向けた生き方支援に努める。特に生命や性、携帯電話等に関わる今日的な問題については、家庭や地域、関係機関とも連携した粘り強い取組を進める。 ○ 中学校区の小学校及び関係機関との情報交換や行動連携に努め、自然体験や社会奉仕体験、職業体験などによる地域社会との関わりを通して、自律性や主体性を育む。
進路指導	<p>自らの生き方を考え、夢や希望をもって主体的に進路を選択できる生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己理解を深める指導を充実させる。 ○ 生徒一人一人の将来に対する目的意識を高め、自己実現を図ろうとする態度を育てる。 ○ 勤労観・職業観を育むキャリア教育の充実を図る。
総合的な学習の時間	<p>学習過程と評価を中核に、主体的・対話的で深い学びが実現できるような学習指導を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習過程において、「課題設定」を工夫し、「協働的な学習」と「言語活動」を適切に位置付けることを通して、探究的な学習の充実を図る。 ○ 「育てようとする資質や能力及び態度」の視点に配慮した評価の観点を定め、それに基づいて生徒の具体的な学習状況を想定した評価規準を設定し、学習評価の充実を図る。
学校保健	<p>生きる力を育む健康教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連携・協働しながら組織的に取り組む健康教育活動を展開する。 ○ 生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援の在り方について研修を進める。